

柏崎刈羽原発 数々の問題がそのままに

国際環境NGO FoE Japan

満田夏花（みつた・かな）



最近の動き

- 11月21日…花角知事、再稼働容認。
「県民に信を問う」→「県議会での判断を仰ぐ」
- 11月25日…1000人超が県庁を取り囲むヒューマン・チェーン
- 12月1日…全国緊急署名、37,892筆を県知事・県議会に提出
- 12月2日…県議会開会
- 12月22日…県議会閉会
 - 柏崎刈羽原発の再稼働の理解醸成の
を目的とした広報費含む補正予算案を
可決
 - 花角知事を「信任」する付帯決議を
可決



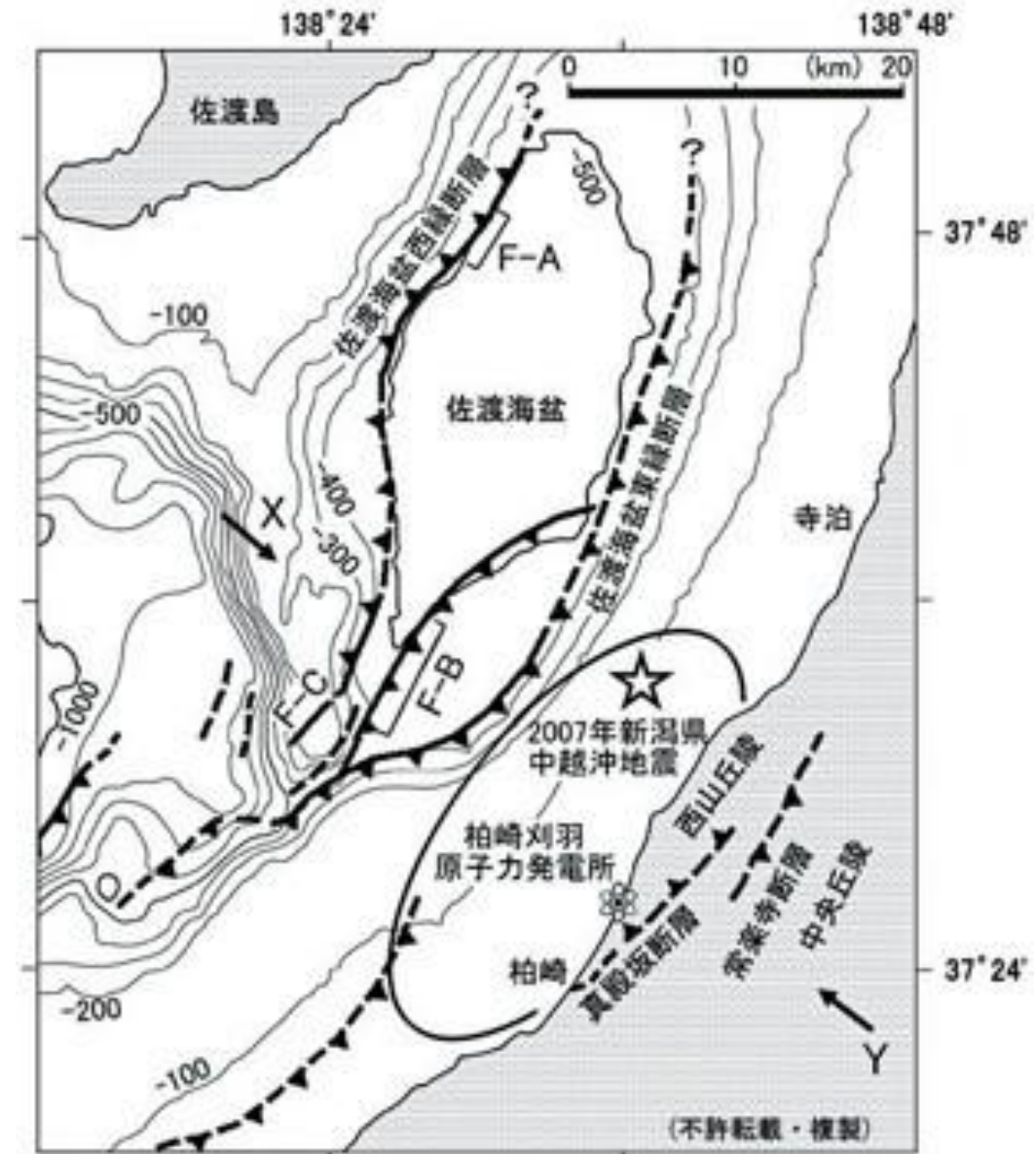
数々の問題がそのままに

- 「県民に信を問う」はどこに？
- 地震の危険性
…地震帯の真っ只中。海域の長大な活断層が評価されないまま
- 東電は信頼できるのか？
…数々の不祥事、データ隠蔽や改ざんも。
- 避難計画の実効性
…住民を被ばくから守ることはできない
- テロ対策施設は未完成
- 行き場のない「核のごみ」
- 経済合理性なき再稼働



地震は大丈夫？

- 地震帯の真っ只中に立地
- 2007年の中越沖地震（M6.8）では、**設計上の想定を超える揺れ**に
- 6, 7号機の基準地震動は、海底活断層（F-B断層）による地震を想定。東電は当初はこれを活断層とは評価せず。2003年、原子力安全保安院の指示により長さ約20kmの活断層と評価しなおしたが、公表しなかった。
- 中越沖地震後、F-B断層を長さ34kmの活断層と再評価
- 専門家は、F-B断層は**50-60kmにおよぶ長大な活断層**（佐渡海盆東縁断層）から枝分かれしたものにすぎず、活断層全体が動いた場合を想定し、少なくともM7.5程度の地震を想定すべきとしている



出典：「柏崎刈羽・科学者の会」リーフレットNo.1 2008年2月24日

東電の信頼性は？

- 2002年、柏崎刈羽原発、福島第一・第二など計13基の原発で、**ひび割れや故障を長年にわたり意図的に隠ぺいし、記録を改ざん**していたことが内部告発をきっかけに明らかになった。
- 2007年の中越沖地震では、柏崎刈羽原発の配管破損や変圧器火災、放射性物質の漏洩が発生。**想定を超える揺れにより、地震評価や耐震設計の甘さが露呈**した。海底断層の一つのF-B断層について東電は当初は活断層とは評価していなかった。2003年、原子力安全保安院の指示により**長さ約20kmの活断層と再評価していたが、このことを公表しなかった**。中越沖地震後、東電はF-B断層を長さ34kmの活断層と再評価した。
- 2011年3月に発生した福島第一原発事故では、**早い段階で炉心溶融（メルトダウン）を認識していながらそれを公表せず、炉心損傷としていた**。


東電の信頼性は？

- 2020年、柏崎刈羽原発において、中央制御室において、東電社員が**他人のIDカードを使って入室していた**ことが明らかになった。その後の調査で複数人による不正使用が発覚した。
- 2021年、柏崎刈羽原発で、侵入者を検知する**複数のテロ対策設備が機能しておらず、それが放置**されていたことが明らかになった。原子力規制委員会は、核物質防護上の機能が一部喪失していたとして、4段階評価のうち最も深刻なレベルの「赤」と評価した。
- 2023年、柏崎刈羽原発において、**東電社員が6号機原子炉建屋の図面を無断で持ち出し、紛失**した。その後、他の社員による書類持ち出しも明らかになった。

【Q & A】 東電柏崎刈羽原発、知っておきたい14のポイント

- 「テロ対策施設」はどうなっている？
- 再稼働のためのコストは？
- 再稼働したら電気代は下がる？
- 核のごみはどうなる？
- 再稼働しなかったら電気は足りなくなる？

詳しくはこちらから

 <https://foejapan.org/issue/20250415/23654/>